

服部分団 県ポンプ操法大会優勝

9月7日、広島県消防学校で、令和元年度広島県消防ポンプ操法競技大会(ポンプ車の部)が開催され、福山市消防団代表として服部分団から2チームが出場し、県内13チームが競い、見事優勝・準優勝を勝ち取りました。
福山市消防団としては、16回目の優勝で、9大会連続優勝の偉業を成し遂げました。
また、優勝した服部分団は、来年秋に開催予定の「全国消防操法大会」に広島県の代表として出場します。



女性分団「全国女性消防操法大会」へ初出場

11月13日、神奈川県横浜市赤レンガ倉庫イベント広場で開催される、第24回全国女性消防操法大会(軽可搬ポンプの部)に、福山市消防団女性分団が初めて出場します。
本大会へは各都道府県を代表する47チームが出場し、福山市消防団女性分団は、広島県消防協会の推薦により広島県代表として出場します。
7月から週3回の厳しい訓練を開始し、優勝を目指して頑張っていますので応援よろしくお願いします。



各種訓練を実施

5月12日、福山市草戸町の芦田川河川敷で、914人の消防団員が、各種訓練に取り組みました。
本年の訓練は、例年実施しているポンプ運用の機関員訓練、新入団員の規律訓練に加え、平成30年7月豪雨を受けて力を入れている「積み土のう工法」や「シート張り工法」などの水防訓練を実施しました。
日々の訓練を通じて、市民の安全と安心を守るための備えを行っています。



「シート張り工法」訓練

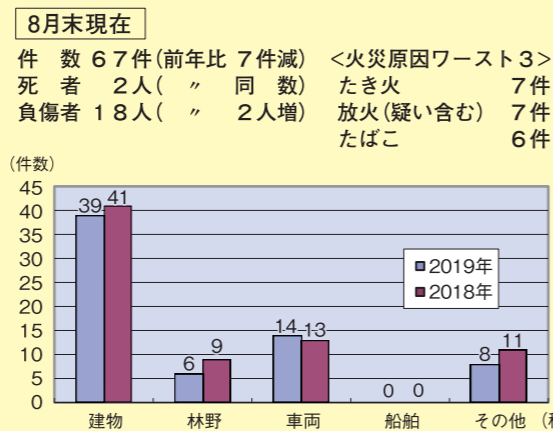
2020年福山消防出初式

●とき 2020年1月12日(日) 午前9時から
●ところ 草戸町草戸大橋下流 芦田川左岸河川敷
出初式では、「地域住民の安心と安全の確保」をスローガンに、各種訓練や木遣り、一斉放水などを計画していますので、多くの皆様の来場をお待ちしています。
●お問合せ先 消防局警防課 TEL928-1193



福山地区消防組合管内 火災発生状況

2019年8月末現在、建物火災が39件発生しており、火災全体の58.2%を占めています。
建物火災の主な原因は、「こんろ」、「電灯・電話等の配線」、「たばこ」の順となっています。
最も多い「こんろ」は、ガスこんろだけではなく電気クッキングヒータでも火災が発生しています。
こんろなどのそばを離れるときは、「必ず火を消す」ようにしましょう。
また、火災が発生した場合、早期発見に役立つのが「住宅用火災警報器」です。身の安全を守るために一日も早い設置をお願いします。



平成30年7月豪雨災害から防災・減災を考える
～ハード対策とソフト対策の充実～

防災の日(9月1日)を前に、福山市防火協会連合会と福山地区消防組合は8月24日、リーデンローズで防災講演会を開催しました。
広島大学理事で副学長の河原能久教授を講師に招き、「平成30年7月豪雨災害の特徴と福山市における洪水氾濫対策の方向性」と題して講演をいただき、約300の方が熱心に聴講されました。
河原教授は、昨年の豪雨災害を受けて、今後の防災・減災への取組として、河川整備などのハード対策、住民の防災意識の向上や避難行動の実施によるソフト対策の必要性などについてご講演され、聴講者には身近な話として分かりやすく、大変好評でした。



秋の火災予防運動

実施期間: 11月9日(土)から11月15日(金)までの7日間

火災が発生しやすい時季を迎えるに当たり、火災予防思想の一層の普及を図り、もって火災の発生を防止し、死者の発生を減少させ、財産の損失を防ぐことを目的として実施されます。



○火災予防運動における主な行事

- 11月2日(土) 10時～ わくわく消防体験inふかやす2019(深安) フジグラン神辺店
- 11月8日(金) 15時～ 街頭広報(南) スマイルキッチン多治米店 街頭広報(芦品) IKOCCAエブリイ駅家店
- 11月9日(土) 10時～ 街頭広報(西) ゆめタウン松永 10時30分～ 住宅用火災警報器設置促進キャンペーン(北) ポートプラザ日化 ポートモール
- 11月10日(日) 9時30分～ 街頭広報(東) ゆめタウン蔵王

○設置は済み了吗?住宅用火災警報器!

消防法により設置が義務付けられている住宅用火災警報器の設置率について、総務省消防庁から発表されました。

※住宅用火災警報器の設置率(2019年6月1日時点)

福山地区消防組合	87%
広島県	87.5%
全国	82.3%

住宅用火災警報器を設置しましょう!

※家族の命を守るため、まだ設置されていないご家庭は、早急に設置してください。設置されたご家庭は、定期的なお手入れと作動確認をしましょう。



☆消防局予防課からのお知らせ☆

○ガソリンを購入される方へ
2019年7月18日、京都市伏見区の「京都アニメーション」第1スタジオにおいて、多数の死傷者が発生する極めて重大な人的被害を伴う爆発火災が発生しました。
この火災については、ガソリンスタンドで購入したガソリンをまいて、火をつけたものとみられています。
これを受け、消防庁から関係団体に対して、ガソリンを容器に詰め替えて販売する場合には、購入者に対する身分証の確認や使用目的の問いかけ、販売記録の作成を行うよう要請がなされました。
【注目ポイント】
ガソリンスタンドでガソリンを携行缶で購入する場合、販売業者から身分証の確認を求められたり、使用目的を問いかげられたりすることがあります。
皆様のご理解とご協力をお願いします。

○ガソリンって危険なの?
ガソリンは非常に引火点が低く、静電気の火花でも引火するなど取扱いを誤ると大変危険です。

○灯油用ポリ容器にガソリンを入れてもいいの?
ガソリンを灯油用ポリ容器に入れることはできませんので金属製の携行缶に入れてください。



2019年度 全国統一防火標語
「ひとつずつ いいね!で確認 火の用心」

☆お問合せ先☆ 消防局予防課 928-1192

★救急車の適正利用を！！



救急医療週間中の9月10日、深安消防署は神辺文化会館で救急健康教室を開催し、深安防火協会の会員も多数参加しました。

救急隊員による「救急車の適正利用について」の講演では、年々、救急車の出場件数が増えるなか、本当に救急車が必要なのはどんなときかについて、分かりやすく笑いも交えた寸劇を行い、会場も大いに盛り上がりました。特に、救急車や救急医療など限りある資源について、大いにアピールすることができました。



★がんばれ！未来の消防士

8月21日、22日の2日間、深安消防署で神辺、神辺東、神辺西中学校の2年生6人が、職場体験の実習を行いました。

猛暑の中、放水・救助訓練や心肺蘇生法などを体験した未来の消防士からは、「訓練はしんどかったが、「命を守る大切さ」を実感することができました」などの声が上がっていました。この経験を生かし、将来、地域社会に貢献できる人になってくれることを期待しています。



「大切な命を守るため、早めに避難を！」



昨年7月の豪雨災害を教訓に、梅雨入り前の6月23日、芦品消防署で防災研修を行いました。

まず、被害の大きかった宜山地区で消防活動をされた福山市消防団宜山分団の前分団長藤原秀樹さんの講演があり、自分の住んでいる地域をハザードマップで確認し、危険区域に入っていれば、早めの避難が特に大切であることを訴えられました。

また、豪雨体験装置による体験、土のう袋の作り方や浸水を防ぐ積み方などを学びました。

参加者からは、「豪雨災害の恐ろしさを再認識しました。いろいろ体験してみて、早めの避難が大切であることがわかりました」という声や「万一に備え、自らの避難はもちろん、地域住民への避難誘導等にも力を入れていきたい」などの感想が寄せられ、大変好評でした。

この研修により、所期の目的を十分達成することができ、今後もこうした体験型の研修を実施していこうと思います。



親子で参加「今日から君も救急隊」



9月9日の救急の日、南消防署はコロナワールドで親子と一緒に参加できる救急講習を開催しました。

保護者は応急手当の訓練を行い、子ども達はぬり絵や救急カルタで楽しく遊びながら、身体の仕組みや身を守る方法などについて学びました。保護者からは、「子どもと一緒に応急手当を学ぶことができ、大変役に立った」子ども達からは、「楽しかった。大きくなったら救急隊になる！」という声を聞くことができました。また、子ども用救急服を着て記念撮影を行うなど、有意義で楽しいひと時を過ごしました。



中学生がチャレンジ！！

8月21日、22日の2日間、南消防署で城北、城西、向丘中学校の2年生5人が職場体験学習を行いました。

生徒は猛暑の中、大粒の汗を流しながら、消火・救急・救助訓練など、職員と一緒に最後まで、真剣に取り組みました。



いざという時のために～あなたは心肺蘇生法ができますか～



7月11日、手城公民館で北防火協会手城支部と手城学区自主防災組織が合同で、普通救命講習を開催しました。

「あなたは、目の前で意識のない人に遭遇した時、どのような行動をとればよいか？」を講習のテーマに、参加者の皆さんは、北消防署職員の指導のもと、容態観察、心肺蘇生法、AEDの使用法等を学びました。

特に、容態観察では、職員から『いざという時』の対処方法を教わり、『とっさの行動』ができるようになりまし。

参加者からは、「AEDの使い方や危険な呼吸状況を大変分かりやすく学ぶことができました。いざという時に尊い命を救うため、勇気を持って心肺蘇生法を実践したい」と声が出ていました。



大災害による傷病者に遭遇その時あなたは・・・



救急医療週間中の9月15日、東消防署は東部市民センターで、市民体験型の多数傷病者救急訓練を実施しました。

体験ブースでは、多くの市民が「大切な人」を救うための心肺蘇生法を救急隊員から現場さながらの指導を受けたのち、実技では大粒の汗を流しながら、真剣に取り組んでいました。

また、緊急車両の乗車体験ブースでは、救急車内での処置の様子を見学しました。救急隊や医療機関など、医療資源には限りがあります。多数の傷病者を伴う大災害に遭遇した時、みなさんも日頃の心構えひとつで多くの人を救える可能性があります。



もし、大災害が発生したら、あなたは大切な人を救えますか？救命の連鎖はできますか？

★災害を知り、地域防災力の強化を目指して★



6月23日、松永西支部の南松永2-3、3・4自治会は、梅雨時期の豪雨に備え、地域の危険区域や防災情報の取得方法などを学ぶため、西消防署職員による防災講話と消火器使用訓練を実施しました。

昨年7月の豪雨により、地域内でも多数の被害が発生したため、改めて、地域防災の重要性を再認識し、危機意識を高めることができました。



★大学生が消防体験

8月19日から23日の5日間、西消防署で大学生2人が、職場体験実習を行いました。

猛暑の中、ホース延長による放水、ロープ結索、応急処置等の厳しい訓練を職員から直接指導を受け、消防の仕事の理解を深めました。消防職員になることを目指している彼らの取組はとても真剣で、最後まで頑張り抜きました。



テレホンガイド
 火災等の問い合わせは
 01880・9988・8888番
 尊い命を守るため
 救急車は本当に必要なときに！

2019年各防火協会の消防競技大会結果

各地域の防火協会が初期消火技術の向上を目指して、平素から取り組んできた消防訓練の成果を披露しました。その結果は、次のとおりです。()内は大会日

- 東防火協会(8月18日)
優勝 坪生支部A
準優勝 引野支部A
第3位 坪生支部B



- 北防火協会(8月18日)
優勝 蔵王支部B
準優勝 千田支部A
第3位 千田支部B



- 芦品防火協会(8月25日)
優勝 駅家支部A
準優勝 法成寺支部B
第3位 駅家西支部A



- 西防火協会(9月1日 ※雨天のため抽選による)
優勝 今津支部A
準優勝 神村支部B
第3位 神村支部A



- 深安防火協会(9月1日)
優勝 山野支部A
準優勝 神辺支部A
第3位 御野支部B



- 南防火協会(9月7日)
優勝 瀬戸支部B
準優勝 瀬戸支部A
第3位 箕島支部A



連合会役員紹介

6月6日、福山市防火協会連合会の役員会において、役員改選が行われ、次のとおり決定しました。

- 会長 藤井 勝之 (深安)
- 副会長 掛谷 賢次 (東)
- 副会長 松本 康宏 (西)
- 副会長 篠原 憲二 (南)
- 副会長 松本 滋 (北)
- 副会長 下江 博雄 (芦品)

退任されました役員の皆様には、永年お世話になり、感謝申し上げます。

本防火協会連合会といたしましては、会員皆様のご協力のもと、事業を推進してまいります。今後とも、一層のご支援、ご協力をお願いいたします。